

大阪府工業指数2025年5月【速報】

毎月の生産・出荷・在庫の推移

1 概況

(1)生産指数…88.2 前月比3.6% 2か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、輸送機械工業、生産用機械工業など9業種が上昇し、石油・石炭製品工業、化学工業など5業種が低下した。

品目別にみると、ショベル系掘削機械、鉄道車両部品等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、▲7.9%と10か月連続の低下となった。

(2)出荷指数…90.6 前月比5.0% 3か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、生産用機械工業、輸送機械工業など9業種が上昇し、化学工業、金属製品工業など5業種が低下した。

品目別にみると、ショベル系掘削機械、超硬工具等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、▲5.4%と10か月連続の低下となった。

(3)在庫指数…95.2 前月比▲7.4% 4か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、生産用機械工業、電気・情報通信機械工業など10業種が低下し、食品工業の1業種が横ばいとなり、鉄鋼・非鉄金属工業、プラスチック製品工業の2業種が上昇した。

品目別にみると、ショベル系掘削機械、汎用内燃機関等が低下した。

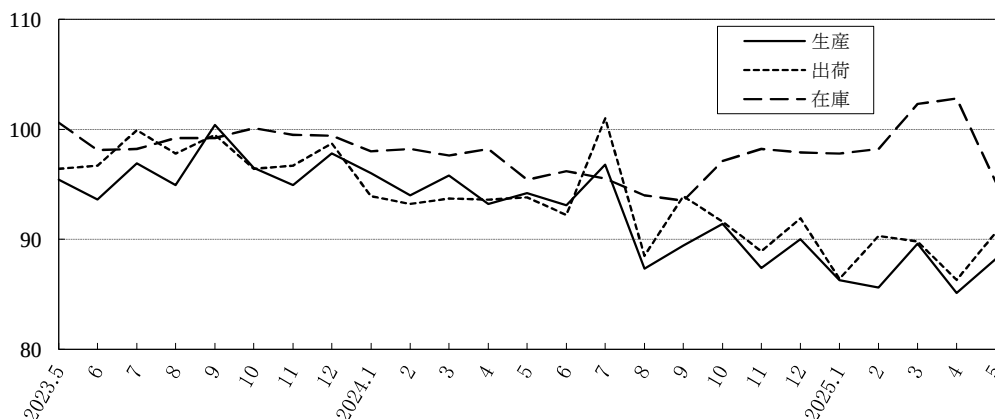
また、前年同月比(原指数)は、▲0.2%と3か月ぶりの低下となった。

2020年=100

区分		季節調整済指数		原指数	
		前 月 比 (%)		前年同月比(%)	
生 産	2025 年 4 月	85.1	▲5.0	86.7	▲8.6
	2025 年 5 月	88.2	3.6	82.5	▲7.9
出 荷	2025 年 4 月	86.3	▲3.9	87.8	▲7.8
	2025 年 5 月	90.6	5.0	84.4	▲5.4
在 庫	2025 年 4 月	102.8	0.5	100.5	4.7
	2025 年 5 月	95.2	▲7.4	98.4	▲0.2

生産・出荷・在庫の推移

数値は季節調整済指数



2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産 前月比 3.6% 上昇 9 業種
低下 5 業種
横ばい 0 業種 計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	輸送機械工業	2.068	50.9	鉄道車両部品、シャシー・車体部品
	生産用機械工業	1.927	15.7	ショベル系掘削機械、超硬工具
	汎用・業務用機械工業	1.060	13.2	ポンプ、汎用内燃機関
	食料品工業	0.945	9.3	ビール・発泡酒、チョコレート
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.588	5.1	普通鋼小形棒鋼、亜鉛めっき鋼板
	その他工業	0.185	2.7	ゴムベルト、平版印刷(オフセット印刷)
	電気・情報通信機械工業	0.135	1.8	電気炉、プロジェクタ
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.025	1.4	段ボールシート
	プラスチック製品工業	0.016	0.4	プラスチック製容器(中空成形)、 プラスチック製機械器具部品
	その他の上昇した品目			鉄道車両【輸送機械工業】、 プレス用金型【生産用機械工業】
低下	石油・石炭製品工業	▲ 0.963	▲ 14.5	軽油、ナフサ
	化学工業	▲ 0.924	▲ 6.0	医薬品、合成洗剤
	金属製品工業	▲ 0.590	▲ 5.7	橋りょう、飲料用アルミニウム缶
	窯業・土石製品工業	▲ 0.068	▲ 5.2	ファインセラミックス(構造材)、安全ガラス
	電子部品・デバイス工業	▲ 0.033	▲ 7.0	-
	その他の低下した品目			リチウムイオン蓄電池【電気・情報通信機械工業】、 機械プレス【生産用機械工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	ショベル系掘削機械	生産用機械工業
	2	鉄道車両部品	輸送機械工業
	3	超硬工具	生産用機械工業
	4	ポンプ	汎用・業務用機械工業
	5	シャシー・車体部品	輸送機械工業
	6	ビール・発泡酒	食料品工業
	7	鉄道車両	輸送機械工業
	8	汎用内燃機関	汎用・業務用機械工業
	9	プレス用金型	生産用機械工業
	10	チョコレート	食料品工業
低下	1	橋りょう	金属製品工業
	2	医薬品	化学工業
	3	軽油	石油・石炭製品工業
	4	リチウムイオン蓄電池	電気・情報通信機械工業
	5	機械プレス	生産用機械工業
	6	ナフサ	石油・石炭製品工業
	7	重油	石油・石炭製品工業
	8	装輪式トラクタ	生産用機械工業
	9	固定比減速機	汎用・業務用機械工業
	10	飲料用アルミニウム缶	金属製品工業

(2) 出荷 前月比 5.0% 上昇 9 業種
低下 5 業種
横ばい 0 業種 計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	生産用機械工業	3.887	43.9	ショベル系掘削機械、超硬工具
	輸送機械工業	1.952	35.4	電動アシスト自転車、シャシー・車体部品
	食料品工業	1.339	14.0	ビール・発泡酒、新ジャンルビール
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.333	2.4	特殊鋼磨棒鋼・線類、鉄鋼切断品
	汎用・業務用機械工業	0.106	1.2	ポンプ、軸受
	プラスチック製品工業	0.068	1.4	プラスチック製容器(中空成形)、プラスチック製機械器具部品
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.064	3.8	段ボールシート
	電子部品・デバイス工業	0.035	8.0	電子回路基板
	その他工業	0.014	0.2	ガラス製魔法瓶、システムキッチン
	その他の上昇した品目			鉄道車両部品【輸送機械工業】、ガソリン【石油・石炭製品工業】
低下	化学工業	▲ 0.869	▲ 6.8	医薬品、柔軟仕上り剤
	金属製品工業	▲ 0.650	▲ 5.9	橋りょう、スチール製缶
	石油・石炭製品工業	▲ 0.359	▲ 3.8	ナフサ、重油
	電気・情報通信機械工業	▲ 0.148	▲ 2.3	リチウムイオン蓄電池、電気計器
	窯業・土石製品工業	▲ 0.004	▲ 0.4	耐火レンガ、ほうろう鉄器製品
	その他の低下した品目			汎用内燃機関【汎用・業務用機械工業】、エアハンドリングユニット【汎用・業務用機械工業】

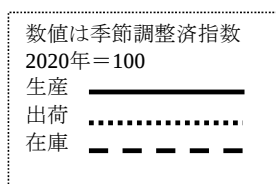
注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

(3) 在庫 前月比 ▲ 7.4% 上昇 2 業種
低下 10 業種
横ばい 1 業種 計 13 業種

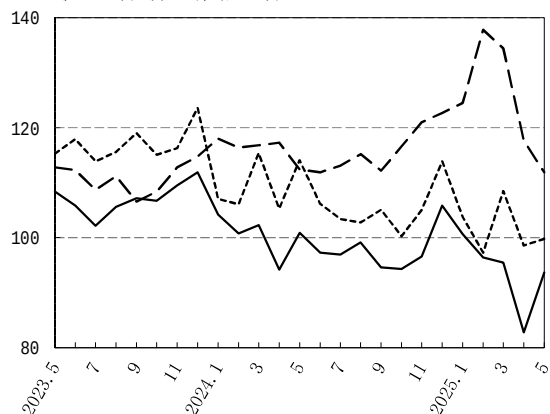
区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	鉄鋼・非鉄金属工業	0.376	1.6	普通鋼H形鋼、伸銅製品
	プラスチック製品工業	0.083	2.1	プラスチック製フィルム・シート、プラスチック製パイプ
	その他の上昇した品目			ビスフェノールA【化学工業】、研削盤【生産用機械工業】
横ばい	食料品工業	0.000	0.0	-
低下	生産用機械工業	▲ 4.606	▲ 31.4	ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ
	電気・情報通信機械工業	▲ 0.513	▲ 4.2	セパレート形エアコン(室外)、リチウムイオン蓄電池
	汎用・業務用機械工業	▲ 0.413	▲ 4.9	汎用内燃機関、パッケージ形エアコン
	化学工業	▲ 0.238	▲ 1.9	フェノール、合成アセトン
	輸送機械工業	▲ 0.164	▲ 23.1	電動アシスト自転車
	石油・石炭製品工業	▲ 0.111	▲ 2.9	軽油、重油
	金属製品工業	▲ 0.045	▲ 0.5	飲料用アルミニウム缶、産業用アルミニウム製品
	その他工業	▲ 0.032	▲ 0.6	繊維板・パーティクルボード、医療・衛生用ゴム製品
	窯業・土石製品工業	▲ 0.032	▲ 4.2	ファインセラミックス(構造材)、せっこうボード
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.016	▲ 1.5	段ボール原紙
	その他の低下した品目			鋼半製品【鉄鋼・非鉄金属工業】、ハム・ソーセージ【食料品工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

3 業種分類別の推移



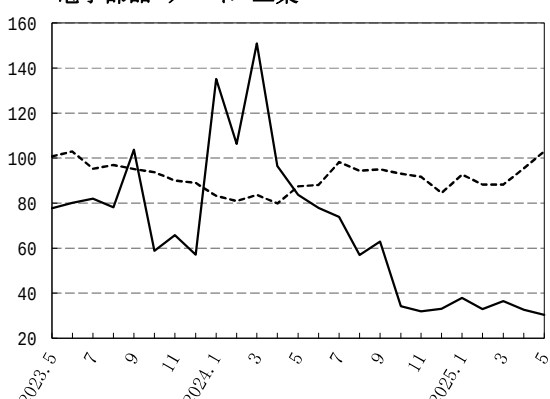
汎用・業務用機械工業



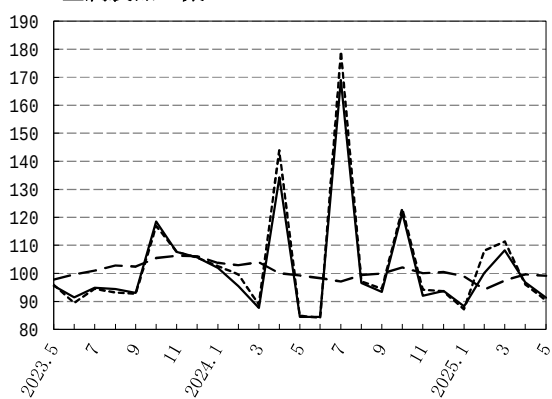
鉄鋼・非鉄金属工業



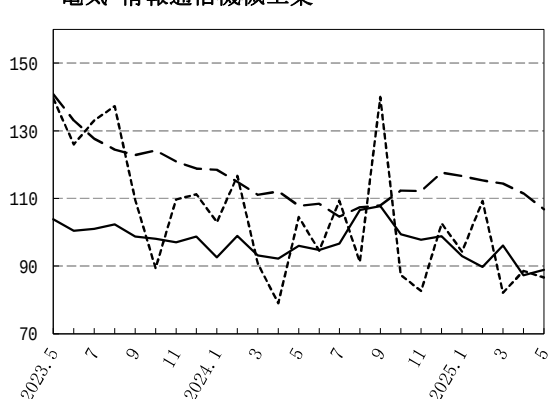
電子部品・デバイス工業



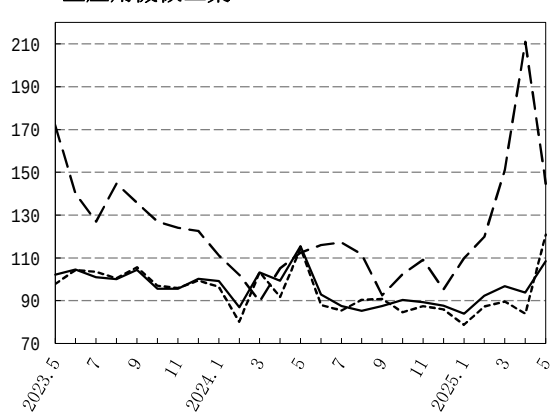
金属製品工業



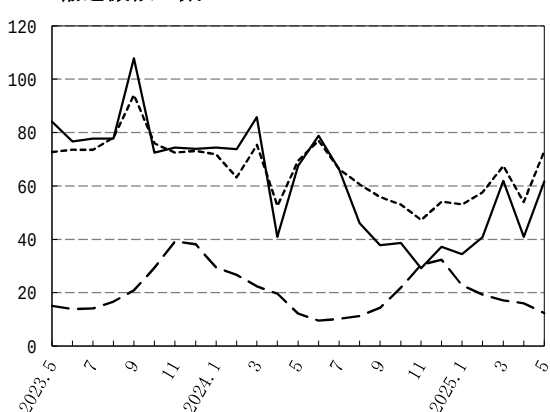
電気・情報通信機械工業

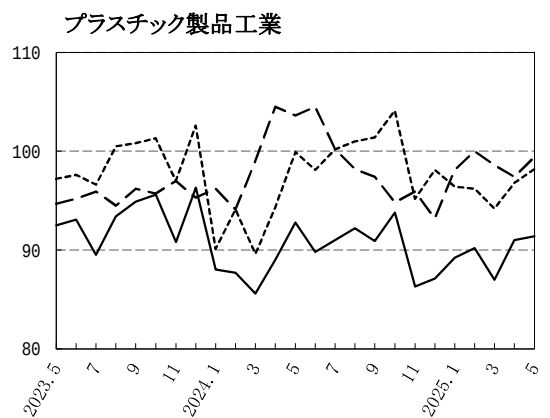
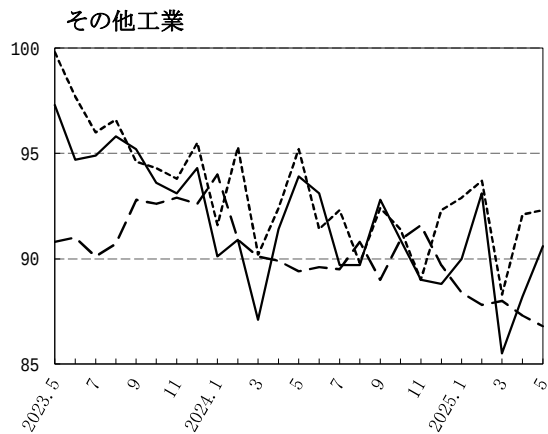
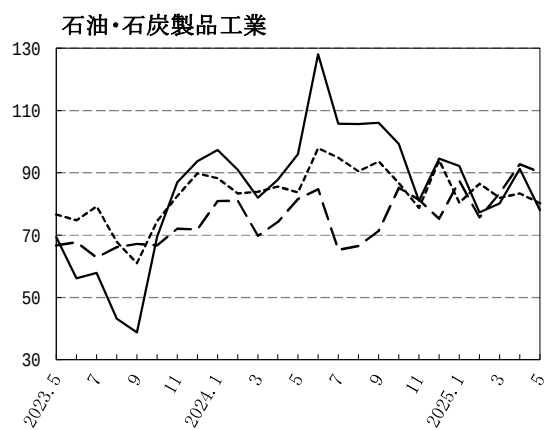
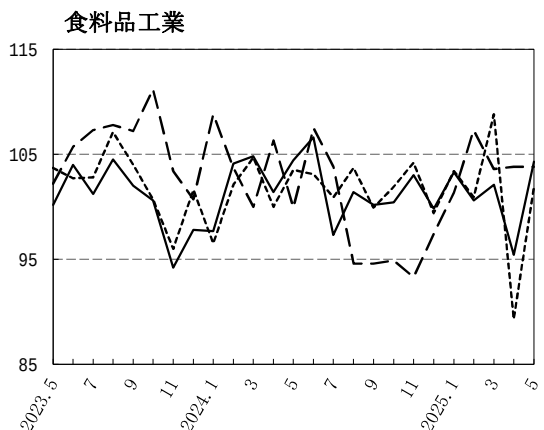
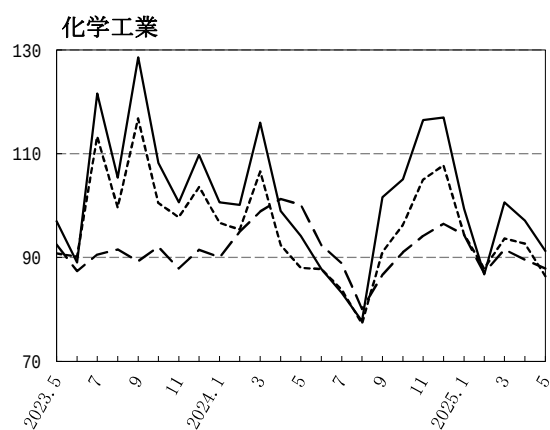
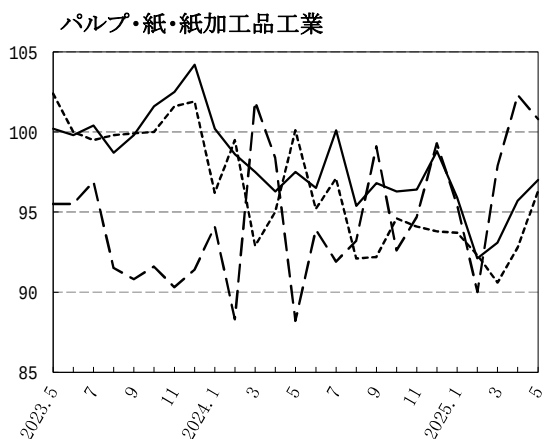
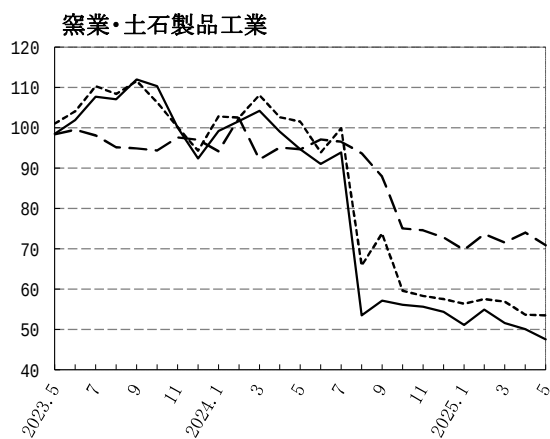


生産用機械工業



輸送機械工業





4 全国・近畿の状況(速報)

2020年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	88.2	3.6	101.8	0.5	94.2	▲0.4
出荷	90.6	5.0	102.0	2.2	96.0	2.2
在庫	95.2	▲7.4	99.4	▲1.9	105.2	▲5.9

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2020年(令和2年)です。

2020年(令和2年)基準の指数値は、2024年1月速報(2024年3月29日公表)から公表しています。

2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」…… 負数であることを示す。

3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

寄与度については、計算の過程で季節調整等の要素による誤差が発生するため、寄与度の合計値は製造工業全体の増減値と一致しない場合があります。

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、

2023年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2024年8月速報(2024年10月31日公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正は毎年実施しますので、2024年1月以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <https://www.pref.osaka.lg.jp/0040090/toukei/iip/index.html>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 分析・利活用促進グループ 工業指数担当 TEL: 06(6210)9195(直通)